

(社会教育課)

指定管理者による施設運営を行っている県立青少年教育施設 2 所（朝霧野外活動センター・三ケ日青年の家）について、外部評価委員会を設置し、その管理運営が健全・安全かつ、適切に行われているか、令和 7 年度事業並びに三ケ日青年の家指定管理第 4 期期間の評価を行った。

役職	立 場	氏 名	所 属
委員長	学 識 経 験 者	渋 江 か さ ね	静岡大学 教育学部 教授
委 員	利用者代表 (学校)	金 子 直 由	浜松市立三ヶ日中学校 校長
委 員	利用者代表 (学校)	篠 原 広 樹	富士宮市立井之頭小学校 校長
委 員	危機管理専門家	楠 城 一 嘉	静岡県立大学グローバル地域センター特任教授
委 員	海洋活動専門家	鉄 多 加 志	東海大学 海洋学部 准教授
委 員	野外活動専門家	川 島 一 郎	日本ボートカウ静岡県連盟 副理事長
委 員	財 務 専 門 家	伊 藤 智 章	伊藤公認会計士事務所 公認会計士

開 催 日		会 場	協 議 内 容
第 1 回	5 月 15 日 (金)	朝霧野外活動センター	評価項目・評価方法確認、 施設視察及びヒアリング
第 2 回	5 月 22 日 (金)	三ヶ日青年の家	施設視察及びヒアリング
第 3 回	7 月 10 日 (金)	県庁	評価決定

年度		H19～21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7	8
朝霧	期	第1期 (3年間)	第2期 (5年間)				第3期 (5年間)				第4期 (5年間)				第5期 (5年間)				
	指定 管理者	日本キャンプ協会グループ																	
三ケ日	期		第1期 (3年間+1年間)			第2期 (3年間)		第3期(5年間)				第4期(5年間)							
	指定 管理者		(株)小学館集英社 プロダクション			三ケ日フィールドパートナーズ													

令和7年度 青少年教育施設指定管理者外部評価委員会 評価結果

＜朝霧野外活動センター＞

◇ 9段階評価ポイント

評 価 項 目		評価ポイント		
		R7 年度	R6 年度	R5 年度
評 価 の 総 括		A	A	A
項 目 別 評 価	① 青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理	A	A	A
	② 青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営	A	A-	A
	③ 青少年の健全な育成を図る事業の運営	A	A	A
	④ 利用者への適切な対応	A	A	A-
	⑤ 青少年教育施設としての目的にあった活動の展開	A+	A+	A+
	⑥ 安全な野外活動実施のための取組について	A	A	A
	⑦ 提案や要望に対する実行状況	A	A	A

(参考) 9段階評価ポイントの意味

記 号	意 味	その他
A	十分満足できる	ABC に対し、必要に応じて＋の付加記号を付ける。
B	おおむね満足できる	
C	努力を要する	

◇ 評価の総括 【9段階評価 A+ **A** A- B+ B B- C+ C C-】

- ・整理整頓や迅速なトラブル対応、研修や講習会への積極的な参加を通して、安全・安心な利用環境の確保に努めている。
- ・青少年教育施設としての目的を十分に果たし、青少年の成長や指導者育成に関する事業が展開されている。
- ・地域の特色である自然やその魅力を生かしたプログラムを提供している。
- ・県委託料収入等の想定する収入の範囲内で概ね過不足なく施設の運営を行っており、管理運営状況は良好であると判断する。なお、運営会社の財務状態に関しては、現状問題はないと判断する。

◇ 要望項目

- ・利用者の変化やアレルギー対応のニーズの高度化を踏まえ、アレルギー対応を含め、利用者への事前教育、啓蒙を進めていってほしい。

◇ 項目別評価

①青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理 [9段階評価 A]

- ・青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理は十分満足できるものである。
- ・老朽化等による設備への影響はあるが、ケーブルの切断事故に関して県との連携含め、早急な改修したことは、安全・安心に関して、十分満足できる管理ができていると判断でき評価が高い。
- ・利用者から個別意見があれば、今後も適宜現場対応をお願いしたい。

②青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営 [9段階評価 A]

- ・各種研修会等への参加や必要な資格の取得など、職員の資質向上に積極的に取り組んでいる。
- ・食物アレルギー対応について、事前の手続き等に努力を重ねている。今後も安全確保を最優先に、施設と利用者との十分な連携のもと、適切な対応の継続を期待する。

③青少年の健全な育成を図る事業の運営 [9段階評価 A]

- ・朝霧の地の利に加え、施設の特性を活かした活動プログラムの充実が図られ、成果を上げている。
- ・他では見られないような長期キャンプが毎年実施され、それに伴ってスタッフ養成、カウンセラーの養成などに取り組み、人材育成に努めている。
- ・閑散期の積極的利用やスケートリンク、プラネタリウムの活用は地域のニーズに応える事業として、高評価の材料になるよう期待したい。

④利用者への適切な対応 [9段階評価 A]

- ・利用者アンケートでは、センター職員の丁寧な対応が高評価を得ている。特に各種プログラム活動についての相談に真摯に対応している点が評価される。
- ・野外炊事に関する改善要望があったが、センターの規定上対応が難しいものについては、丁寧に説明し理解を得るように努めている。

⑤青少年教育施設としての目的にあった活動の展開 [9段階評価 A+]

- ・朝霧高原の特色を活かした多くのプログラムを提供し、教育施設として利用者から満足評価を得ている。
- ・利用者の活動目的に応じて豊富なプログラムの中から最適なものを選択できるよう、助言を行うとともに、必要に応じて指導スタッフを派遣するなどの支援を行っている。
- ・人材育成の一環として養成講習会を実施し、その修了者に対しては、主催事業の運営スタッフとして活動できる機会を提供している。

⑥安全な野外活動実施のための取組について [9段階評価 A]

- ・ホームページにおけるリスクマネジメントの公開や安全対策マニュアルの適宜改定、および所員の意識の適切なアップデート、対応訓練が計画的に行われている。
- ・所内研修として応急救護講習が実施され、緊急時に対する準備がされている。会議中に委員から提案があったように、今後は安全対策マニュアルをより明確な使用目的別に使い分け、所員用と利用者用と内容を選別して作成することを検討いただきたい。

⑦提案や要望に対する実行状況 [9段階評価 A]

- ・提案や要望に対して積極的かつ適切に対応している。
- ・アレルギー対応について、再発防止に向けた継続的な取り組みを進めることを要望する。
- ・利用者の社会教育施設に対する意識・要望が、施設の目的・意義と異なる場合の事前説明や啓蒙がより必要と考える。
- ・極力、常時電話対応の努力は評価できるが、自動応答及び緊急時のみ携帯電話への転送など、負担軽減のために優先度に応じた対応を検討することを要望する。